

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価（ 月 日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	○柔軟で多様な学びのシステムを活かした教育活動を推進する。 ○学ぶ大切さと、学ぶ楽しさを経験させる。	①個別学習支援制度を充実させ、課程間併修等の多様な学びのシステムの有効的な活用を目指す。 ②課程や教科の特性を生かし、ICT機器やBYOD回線を活用した授業展開を考え、組織的な授業改善を研究する。	①課程間併修等の多様な学びのシステムの有効的な活用について検討する。 また、令和8年度入学生用教育課程の改善に取り組む。 ②課程や教科の特性を生かしたICT機器やBYOD回線を活用した授業展開を考え、組織的に取り組む。	①課程間併修等の多様な学びのシステムの有効的な活用ができたか。 令和8年度入学生用教育課程の編成が適切に行えたか。 ②課程や教科の特性を生かしたICT機器やBYOD回線を活用した授業展開を考え、組織的に取り組むことができたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	○誰もが自分らしく過ごせる安全・安心な学習環境を実現する。 ○生徒の主体的な活動を充実させ、協働する力と自己肯定感を養う。	①安全安心な学校生活を目指しながら人権意識を高めると同時に教育相談と支援体制の充実を図る。また、命を大切にする意識を高める。 ②早期における自己の将来設計を通して、生徒一人一人が日々の学習や活動に意欲的に取り組めるよう支援する。	①基本的生活習慣の定着と規範意識の向上を図ると共に、生徒情報の共有とSC・SSWの活用を促す。交通安全に関する知識の構築と交通安全教育の充実を図る。 ②生徒の進路目標の実現に向けた主体的な活動を支える。	①生活上の問題行動やマナー違反が減少したか。また、生徒情報の共有とSC・SSWの活用がうまく行われたか。交通安全に関する意識が向上したか。ヘルメットの着用率の向上や、交通事故の減少がみられたか。 ②生徒の主体的な活動を支えられたか。					
3	進路指導・支援	○高校生活の意義を明確化し、キャリアを適切に形成していくための支援を行う。 ○複雑化する進路選択に対応しうる相談体制を構築し、進路希望を実現する。	①早い段階から職業理解を深め、段階に応じた進路指導を行うことで、社会の変化に柔軟に対応でき、多様な勤労感・職業観を持った生徒を育成する。 ②高校生活を社会的移行の準備期間と位置づけ、将来設計を通じて学習意欲を高め、学習の習慣づけを促すとともに、生徒一人一人に丁寧な指導ができる環境を整える。	①看護体験などの職業体験やインターンシップへの参加を通じて、実際の仕事を体験させたり、OB・OGと接触する機会を持たせたりして、早期の職業観の育成を目指す。 ②生徒が自分の興味や強みを理解するための性格診断や興味関心テストを通じて自己理解を深め、また定期的に目標設定とその達成度を振り返る時間を設ける。	①職業体験の場である1日看護体験やインターンシップ、「仕事のまなび場」などの募集周知を適切な時期に行い、必要な生徒が利用できる環境を整えたか。 ②早い段階で適性診断などを実施することで、3者面談等でフィードバックを行い、また進路カルテを利用して自己の目標設定から実行・反省を行うことができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	○社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域等と連携した教育活動を推進する。 ○学校の魅力・特色の校外への情報発信を推進する。	①地域貢献活動を推進し、地域への情報発信を行うとともに、地域との相互理解を深める。 ②柔軟で多様な学びのシステムをわかりやすく情報発信していく。	①クリーンウォーク等の地域貢献活動を通して、地域と連携するとともに、地域へ学校の教育活動を発信する。 ②課程間で連携しながら、ホームページ等の情報発信や説明会等の充実化を図る。	①クリーンウォーク等、地域連携活動を実施し、地域に学校の教育活動を発信できたか、またその活動により地域と連携できたか。 ②ホームページ等の情報発信を充実させ、説明会等を三課程で連携しながら取り組めたか。					
5	学校管理 学校運営	○生徒が安全・安心に学校生活を送れるように教育環境を整備する。 ○教員の働き方改革をさらに進め、教育活動の充実につなげる。	①生徒の教室等に対する「使う前よりきれいにして戻す」意識を醸成する。 ②生徒の居心地の良さにつながる教育環境の整備を進める。 ③学校のミッションを踏まえつつ、働きやすさと働きがいの両立をめざす。	①学校行事や年次行事を実施した際の環境委員会を核とする生徒の美化活動を推進する。 ②20周年記念事業とタイアップした教育環境を整備する。 ③衛生委員会の定期的な活動と、職場環境改善シートを活用し、働きやすい職場環境づくりを推進する。	①スポーツ大会・文化祭・年次レクで使用した場所・施設はきれいに復元されていたか。 ②購入整備した備品や消耗品の活用実績と授業などでの生徒の生活様相の変化があったか。 ③衛生委員会が機動的に活動できたか。また、職場環境改善シートが効果的に活用される等により、働きやすさ、働きがいについて職員の感じ方に変化が見られたか。					